

美里町岩野地区の棚田

第2回 こども食菜塾2007 開催(9月22~23日)

天候に恵まれ、第2回の食菜塾も無事に終わることができました。

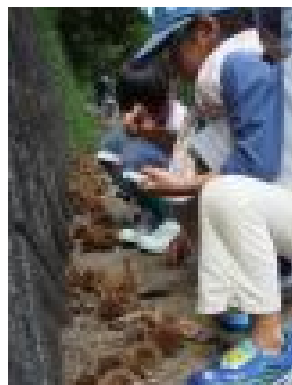
6月にみんなで手植えた苗は、3ヶ月の間にあっという間に成長し、たくさんの稲穂をつけていました。この間、岩野の方々には大変お世話になりました。

田んぼの生きものたんけん隊では、^{むしみぼん}虫見板() という下敷きを用いて、みんなで生きものを探してみました。下敷きを稲の株間に置き、稲をぼんぼんと揺すって虫を落とします。



下敷きの上には虫眼鏡がないと見えないような小さな小さな虫たちが動いていました。「こんなに小さな虫がいるなんて知らなかったよ!」と言う子もいました。その他、「カエルがいたよ!」「イモリがいたよ!」「カメムシがいたよ!」とみんなで夢中になって探していると・・・「ヘビがいたよ!!」という声。。隣の柿の木畑にシマヘビが出ました。しばらくの間、みんなで離れたところからヘビの動きを観察し、「ヘビは何でここにいるんだろうね~?」「何を食べて生きているのかな?」というところから、少しだけ食物連鎖のお話しをしました。

田んぼは稲を育てる場です。しかし、育つのは稲だけではありません。水が張られている間、水場とエサを求めて生きものが集まります。田んぼは生きものを育む場とも



なるのです。ヘビが出たのはビックリしましたが、そのことがきっかけで、みんなちょっとだけ生きものつながりがわかったようでした。そして、人間にとっても水が大切であるように、生きものにとっても水がとても大切であるというお話しをしました。また、私たちが飲む地下水も田んぼの恵みなんだよという話もしました。

生きもの探しの後は、岩野地区を歩いて散策しました。クリを拾ったり、きれいに咲いた彼岸花を愛でたり。みんな思い思いに秋の岩野を楽しみました。持ち帰ったクリは、クリご飯として食べました。

その他、元気の森かじかの近くで秋の七草を探したり、おはぎ作りをしました。七草のうち、見つけることが出来たのは、萩、尾花、葛だけでしたが、シソの花を見つけたり、カラスウリを見つけたりと、収穫がたくさんありました。

この豊かな自然がいつまでも残りますように。みんなが楽しそうに活動する様子を見て、心からそう思いました。



次の食菜塾では、みんな何を見つけるのかな? また10月も楽しい活動が待っていますよ!

今回のおみやげ
井本さん家のサツマイモ
みんなで作ったおはぎ

